

附 表

附表-1 淀川水系で確認された魚類（文献調査及び本検討委員会に関する現地調査）

					文献調査による確認										本検討委員会に関する現地調査による確認									
					天ヶ瀬ダム下流域					天ヶ瀬ダム上流域					天ヶ瀬ダム下流域			天ヶ瀬ダム上流域		琵琶湖疏水（第1）				
					淀川水系全体 平成2～17年 (1990～2005年)	淀川大堰 平成8年 (1996年)	宇治川 昭和53年 (1978年)	宇治発電所直下 平成12年 (2000年)	大峯ダム直下 昭和初期 (1930年代頃)	天ヶ瀬ダム湖内 平成9～13年 (1997～2001年)	瀬田川 昭和27年 (1952年)	琵琶湖（流入河川も含む）				天ヶ瀬ダム放流口 ～宇治発電所 平成16～17年 (2005～2006年)	天ヶ瀬発電所内（平成17（2005）年）			貯水池流入部 平成16～17年 (2005～2006年)	上流（第1トン ネル西口付 平成17年 (2005年)	中流（夷川ダ ム付近） 平成17年 (2005年)	下流（疏水・瀬 川境界付近） 平成17年 (2005年)	
					江戸時代 (1800年代)	明治時代 (1910～1911年)	大正時代 (1914年)	現在 (1994～2005年)	放流口定置網	放流口カゴ網	ゲート室内													
No.	科名	和名	学名	生活型																				
76	サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>	純淡水魚																				
77		オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	純淡水魚																				
78	ボラ科	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	海水・汽水魚																				
79	ハゼ科	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>	純淡水魚																				
80		カワアナゴ	<i>Eleotris oxycephala</i>	汽水・淡水魚																				
81		ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	汽水・淡水魚 両側回遊魚																				
82		イサザ	<i>Gymnogobius isaza</i>	純淡水魚																				
83		マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	海水・汽水魚																				
84		オオヨシノボリ	<i>Rhinogobius sp.LD</i>	両側回遊魚																				
85		トウヨシノボリ	<i>Rhinogobius sp.OR</i>	両側回遊魚																				
86		カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	純淡水魚																				
		ヨシノボリ類	<i>Rhinogobius sp.</i>	-																				
87		ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	純淡水魚 両側回遊魚																				
88		チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>	汽水魚																				
		ハゼ類	Gobiidae	-																				
89	タイワンドジョウ科	タイワンドジョウ *2	<i>Channa maculata</i>	純淡水魚																				
90		カムルチー	<i>Channa argus</i>	純淡水魚																				
		21科	90種	-	79種	28種	44種	20種	26種	33種	14種	28種	26種	44種	64種	16種	10種	5種	4種	10種	6種	7種	9種	

注）1. 分類体系は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト - 平成15年度河川・ダム湖統一版 - (財)リバーフロント整備センター 平成16年)」に従った。年代が古く、俗称等で記録されている種があることから、種名が特定できない場合は、「類」と表示し、学名は科又は属で表示した。

2. 使用した文献

天ヶ瀬ダム下流域

- 淀川水系全体： 1) 平成2年度淀川魚貝類調査業務報告書（淀川水系の総括）(1991)アジア航測株式会社
 2) 平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑（ダム湖版）(魚類・底生動物調査編) (1993) 財団法人リバーフロント整備センター
 3) 平成5年度河川水辺の国勢調査年鑑（ダム湖版）(魚類・底生動物調査編) (1994) 財団法人リバーフロント整備センター
 4) 平成8年度河川水辺の国勢調査年鑑（ダム湖版）(魚類・底生動物調査編) (1997) 財団法人リバーフロント整備センター
 5) わんどの機能と保全・創造 - 豊かな河川環境を目指して - (1999) (財)河川環境管理財団大阪研究所
 6) 平成11年度河川水辺の国勢調査年鑑（河川版）(魚類・底生動物調査編) (1999) 財団法人リバーフロント整備センター
 7) 大阪府水生生物センターHP(2005)大阪府水生生物センターhttp://www.epcc.pref.osaka.jp/afr/fish/seika/yod/index.html (2007.3.19閲覧)
- 淀川大堰： 淀川大堰遡上魚類検討業務報告書（1996）（財）河川環境管理財団/河川環境総合研究所大阪研究所
- 宇治川： 宇治川河川敷生態調査報告書（1978）近畿地方整備局淀川工事事務所/（社）近畿建設協会
- 宇治発電所直下 平成12年度淀川生態環境調査検討業務（8/8）（その2）報告書（2001）（財）河川環境管理財団/河川環境総合研究所大阪研究所
- 大峯ダム直下： 地元有識者へのヒアリング結果（2005）

天ヶ瀬ダム湖内

- 1) 天ヶ瀬ダム河川水辺の国勢調査（1997）近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所
 2) 平成13年度天ヶ瀬ダム河川水辺の国勢調査（2001）近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所

瀬田川

- 昭和二十七年一月起 魚介類統計簿（1952）瀬田漁業協同組合

琵琶湖

- 1) (江戸時代)湖中産物図説（1854）藤井重啓、湖魚考（1806）小林義兒、淡海魚譜（詳細不明）渡辺奎輔
 2) (明治時代)琵琶湖漁具図説（1910）近江水産組合、琵琶湖水産誌（1911）中川源吾・巖庭善代蔵
 3) (大正時代)琵琶湖水産調査報告（1914）滋賀県水産試験場
 4) (現在)
 ・平成5年度河川水辺の国勢調査年鑑（河川版）（1994）財団法人リバーフロント整備センター
 ・平成6年度河川水辺の国勢調査年鑑（河川版）（1995）財団法人リバーフロント整備センター
 ・平成6～7年度琵琶湖および河川の魚類等の生息状況調査報告書（1996）滋賀県水産試験場
 ・滋賀県湖南地域における魚類の分布パターンと地形との関係（2001）中島経夫他、陸水学雑誌 62, 261-270
 ・平成14～15年度琵琶湖および河川の魚類等の生息状況調査報告書（2005）滋賀県水産試験場

3. 生活型の分類は、「川と海を回遊する淡水魚 - 生活史と進化 -」（平成8年）後藤晃、塚本朋巳、前川光司）に従い、「改定 日本の淡水魚 山と渓谷社（平成13年）」を参考にした。
 4. 海産魚及び近年、琵琶湖において明らかに人為的に移入したと考えられる外来種（本文第6章 表6.3-5に記載されている種のうち、文献「今までに捕まえられた外来生物（滋賀県水産試験場、2005）」のみで確認されている種）はリストから除外した。
 5. *1：近年では生息していないと考えられる（専門家による指摘）。 *2：カムルチーの可能性がある。 *3：生息していないと考えられる（専門家による指摘）。 : 外来種（国内外来種も含む）を示す。
 6. : 文献「琵琶湖水産調査報告（滋賀県水産試験場）」によると、「湖産ノます」と「海ヨリ遡上スル本来ノます」との記載があり、それぞれ、ビワマス、サツキマスと考えられる。
 7. : 文献「琵琶湖水産調査報告（滋賀県水産試験場、1914）」によると、生息していない説もある。